

## 我々の考える世界基準の環境創り

### テーマ Make a Dream ! Get a Dream ! 「夢を作り、夢をつかもう」

これからの日本を背負って立つ子供たちの為に我々大人は何ができるであろうか？

もし何かができるのであれば、少しでも夢のある未来を作ってあげればいいのではないだろうか？

そんな考えから、我々は今までお世話になってきたバスケット界の為にできる限りの未来作りをやろう！！！！

と 2003 年から世界を見据えた活動を始めました。

活動のコンセプトは「環境作り」「環境改善」「環境整備」など「環境」をどうするかという事です

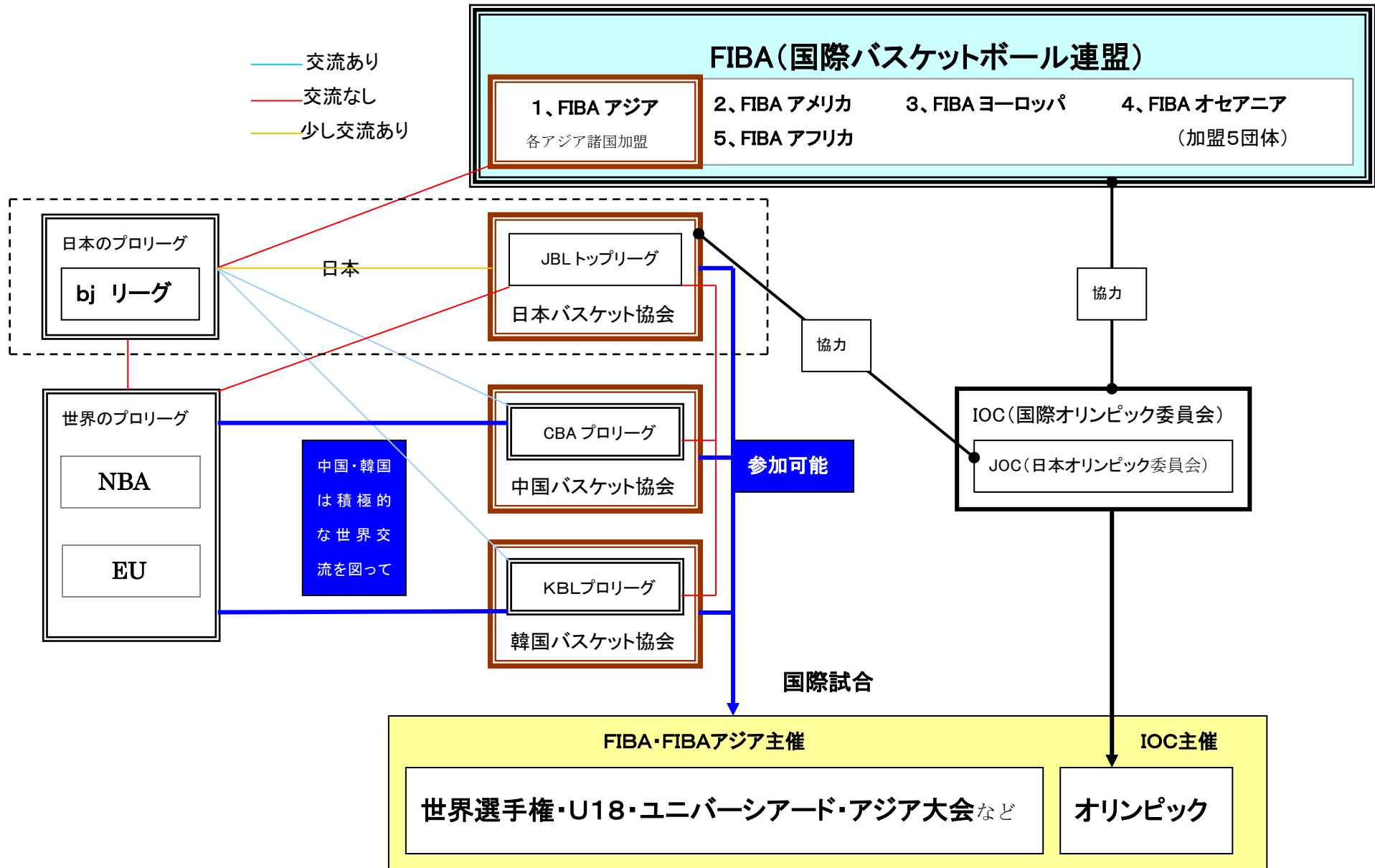
何故なら人は環境に生かされているからです。子供達の未来作りには不可欠な事だと思います。

そしてその具体的な活動としては、気づいた問題はすぐに対処し、同時にその問題の根源は時間をかけて改善していく「対処療法と改善療法」のミックス活動です。

ここでは、その活動をどのようにして進めているのか、ご紹介します。

# 日本バスケット界の環境について

## ①(世界のバスケット界と日本の関係)



## ②（日本国内の状況）2007年資料

日本におけるバスケット人口は推定600万人（競技者登録は年間約60万人）、これは野球の約500万人、サッカーの約450万人をしのぐ多さ。しかし日本バスケット界ではバスケットボール協会とは一線を置いたbj（プロ）リーグが2004年からスタート。

その結果、bjに参加する日本人選手は日の丸を背負って国際試合に参加できない不自然な形ができた（2012年現在はこの問題も解消はされた）

日本が1つになって世界を目指せない状態が続いている。

（競技者人口はウィキペディア参照）

※ただしバスケットは野球やサッカーに比べると女子の競技者人口が多い

### bjリーグ（日本初のプロリーグ）

現在10チーム（2007年）

2008年シーズンは12チーム

日本のチーム、しかしコートには海外からの選手が多い。不思議な光景

東京アパッチ      新潟アルビレックス  
仙台エィティナイナーズ      富山グラウジーズ  
大阪エベッサ      埼玉ブロンコス  
高松ファイブアローズ      大分ヒートデビルズ  
ライジング福岡      琉球ゴールデンキングス

VS

### 日本バスケットボール協会

実質上日本のトップリーグであるJBLや実業団選手権などアマチュアバスケットを全て管理運営する団体。

オリンピック、世界選手権、アジア大会なども国際バスケットボール連盟やJOCと共に運営する。

#### ★JBL1男女（トップリーグ）

トヨタ、アイシン、三菱、日立、東芝、松下、北海道、栃木

#### ★JBL2男女（セカンドリーグ）

★実業団大会      ★教員の各地区の大会や全国大会を運営

★クラブの各地区の大会や全国選手権大会を運営

★大学選手権大会（インターカレッジ）（大学リーグなど）

★高校の各地区大会や全国選手権大会を運営

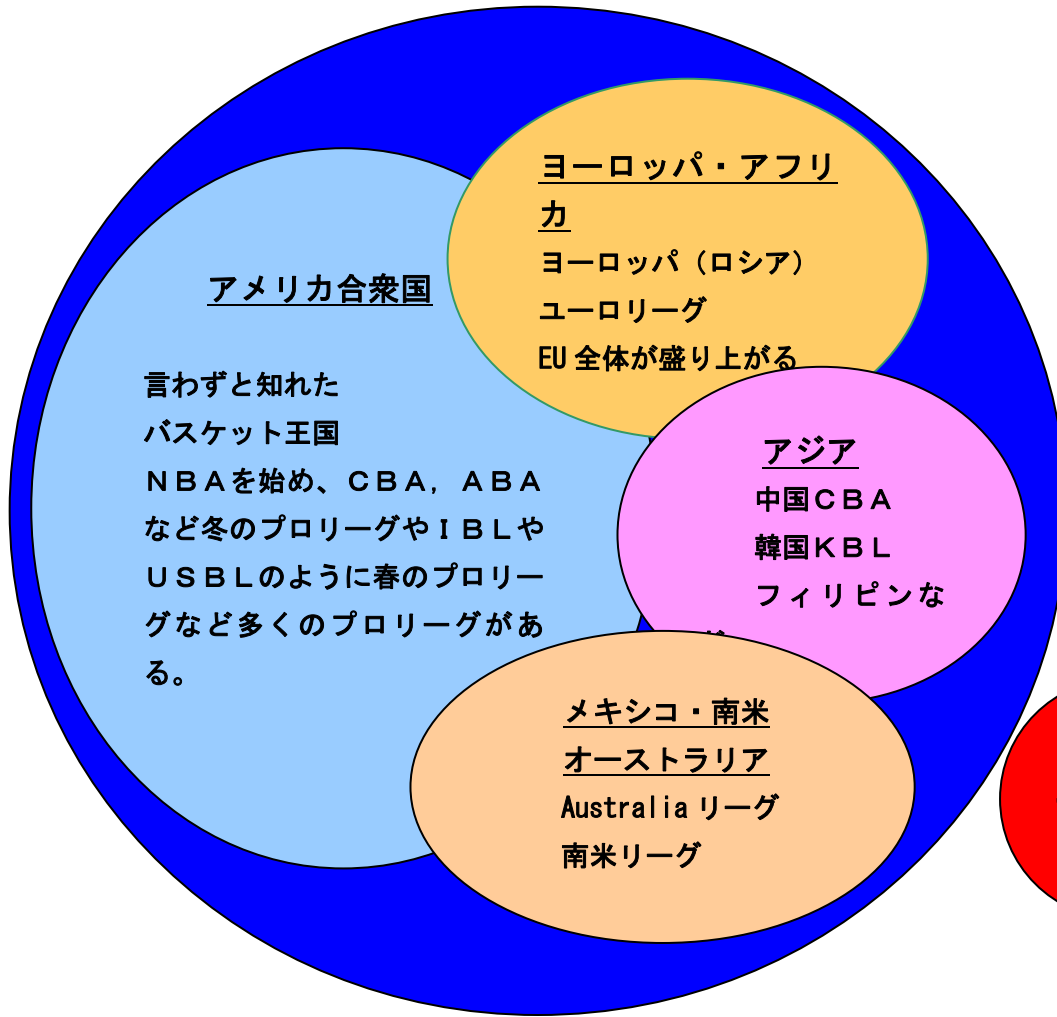
★中学の各地区大会や選手権大会を運営

★小学の各地区大会や全国交歓大会を運営

※2013年現在 bjリーグも22チーム JBLもNBLへと変化してきてますが、歴史の流れが見やすいように2007年の資料で説明します

③(世界からはみ出した感がある日本・イメージ)

各国のプロリーグ



強くなる為の早道は、強い環境に浸るのが一番

日本以外のバスケット先進国は国や協会を上げて  
世界一を目指している

その結果、ヨーロッパ、南米、オーストラリア

中国や韓国の選手がNBAでも活躍している。

でも残念ながら日本からは一人の選手もいない

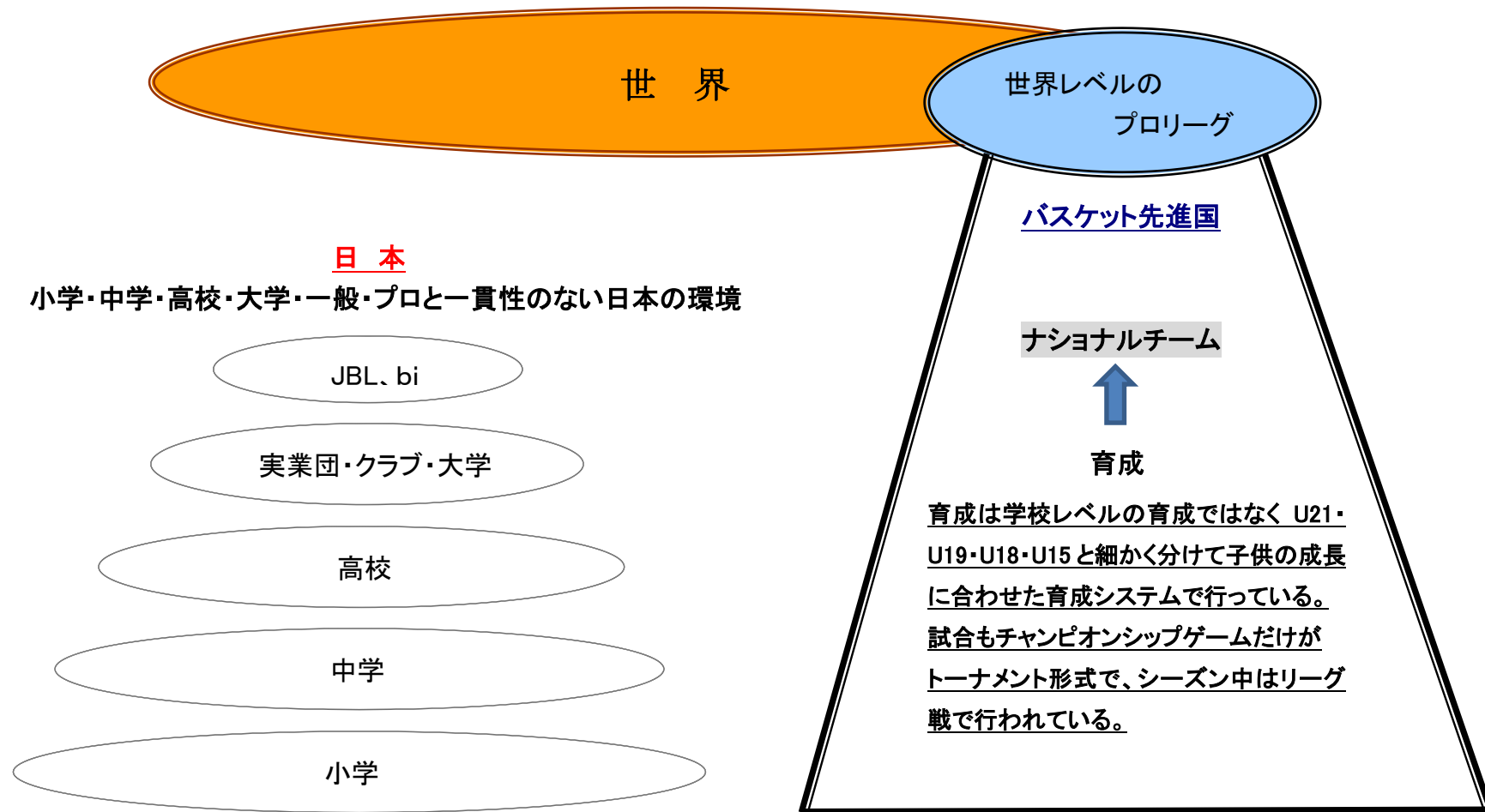
NBAは現在30チーム、選手は約400名  
うち海外からの選手は約40% (約160名)  
残念ながら田臥選手を含め日本人選手の在籍は無し

#### ④(日本の独特のバスケット環境)

世界レベルの選手が育たない日本バスケット界と結果を残すバスケット先進国の育成システムの違い

「結果を残す」ということは大事なことで、後は何をもって「結果」とするか・・・だ。

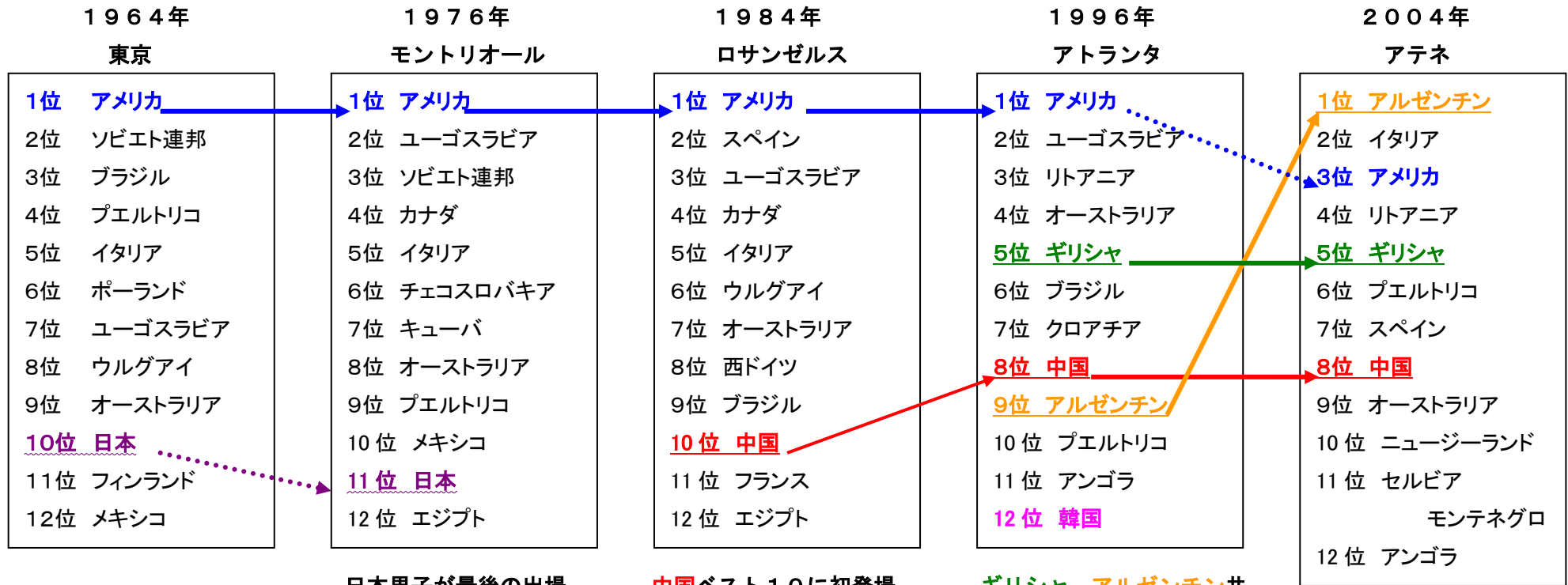
**日本**は、小学校、中学校、高校と大会の形式はトーナメント、従ってチームは勝つことに気が取られ、育てる事を見失いがち  
**バスケット先進国**は、世界を視野に置き子供の成長に合わせた育成を行っている。成長の先に「結果」があると捉える



## 思想の違いによる結果 その① (バスケット界における日本と諸外国の違い)

アメリカ、カナダ、オーストラリア、ブラジル、イタリア、旧ソビエト連邦、解体後のユーゴスラビアやリトアニアなど、安定した強さを誇ってきた国に対して20年ほどかけ、世界一を目指し、育成を始めたバスケット新興国のアルゼンチンは、2004年に見事優勝。

ギリシャも1996年からベスト10入り、そして2006年日本で行われた世界選手権では悲願の優勝を達成した。また中国も以前から強かったのではなく、モンテリオールまでは日本がリード、しかしロサンゼルスオリンピックからはベスト10に入り、現在は安定した強さを発揮している。



日本男子が最後の出場  
となったオリンピック

中国ベスト10に初登場

ギリシャ、アルゼンチン共  
にベスト10に登場  
韓国も12位と復活の兆し

アルゼンチン悲願の優勝  
アメリカ屈辱の3位  
優勝したアルゼンチンは  
5名以上のNBA経験者を  
有したチームだった

韓国の頑張りとは、日本が身長や身体的  
能力を言い訳にできない結果だ

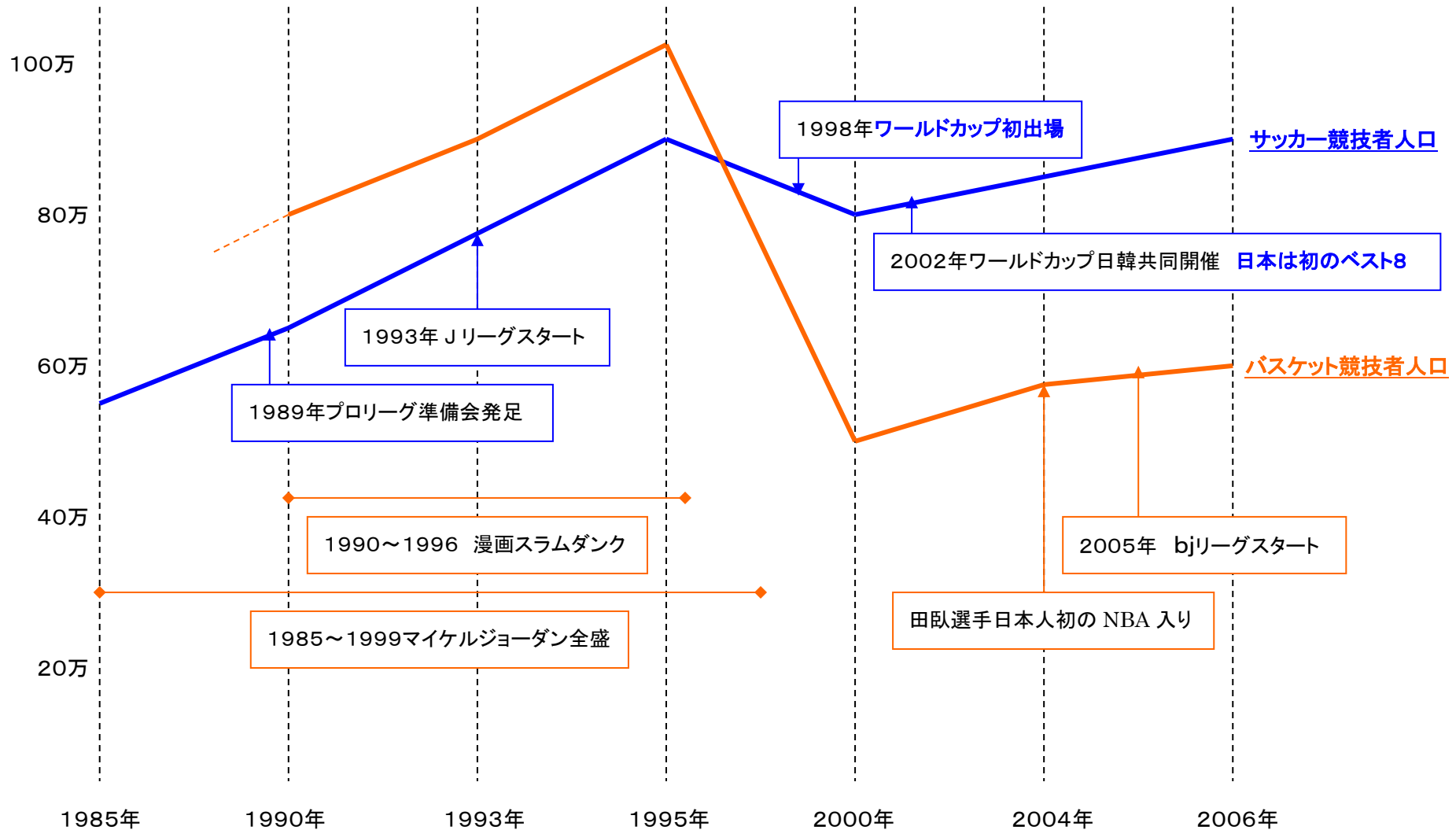
## 思想の違いによる結果 その② (サッカー界とバスケット界の比較)

サッカー界もバスケット界も同じ日本人の大人がしている事なのに結果は違ってくる

サッカーは「環境」を創ってきた。だから成績も上がり、競技者人口も少しずつ増えている

バスケットは「環境」に左右されてきた。だから競技者人口も極端に増減するし、欲しい結果が手に入らない

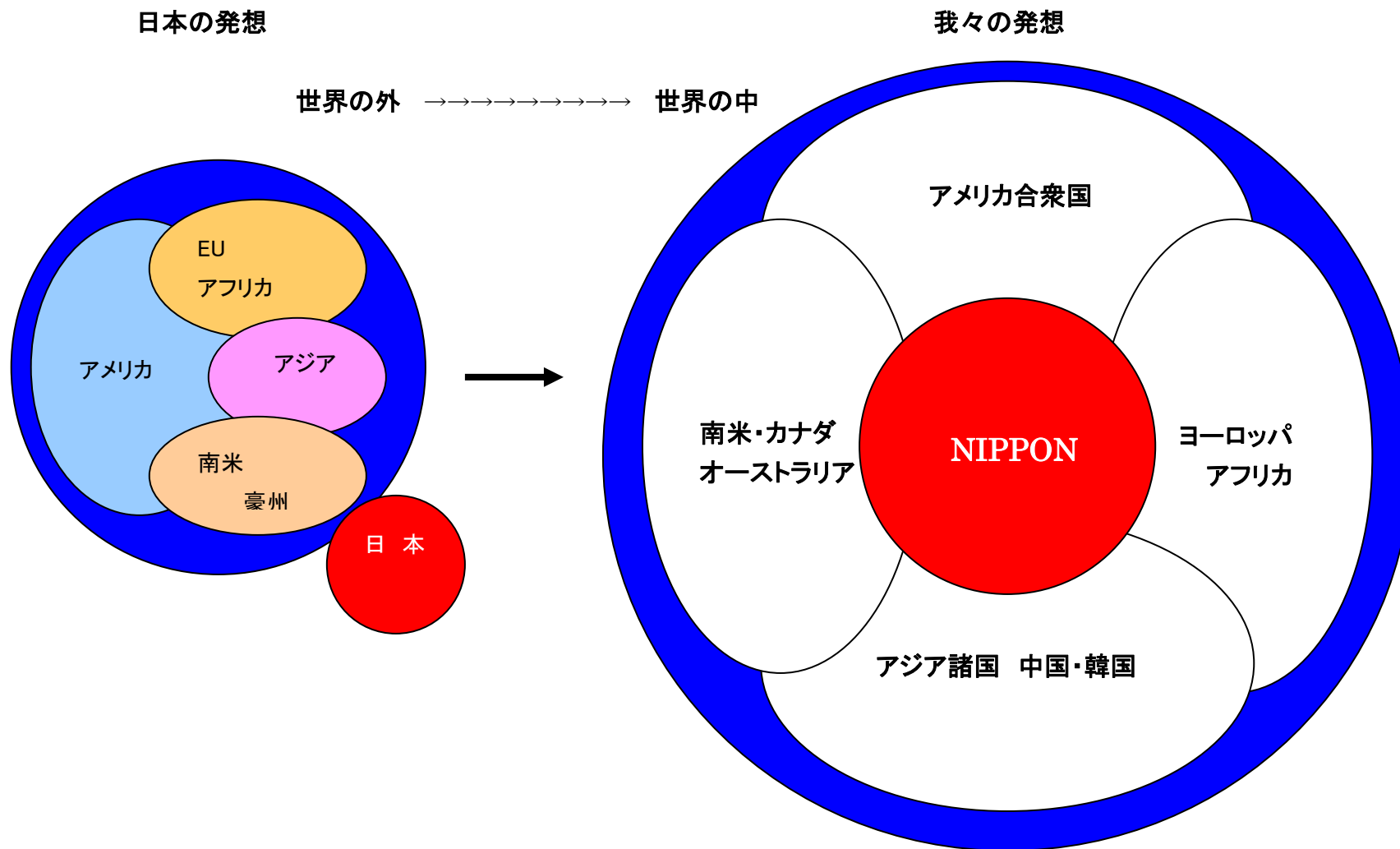
※バスケットは女子の競技者も多いが、サッカーは少ない



# 我々の考える、日本が世界に浸るイメージ

日本を世界の中に入れてしまう(ドラエモン的イメージ)

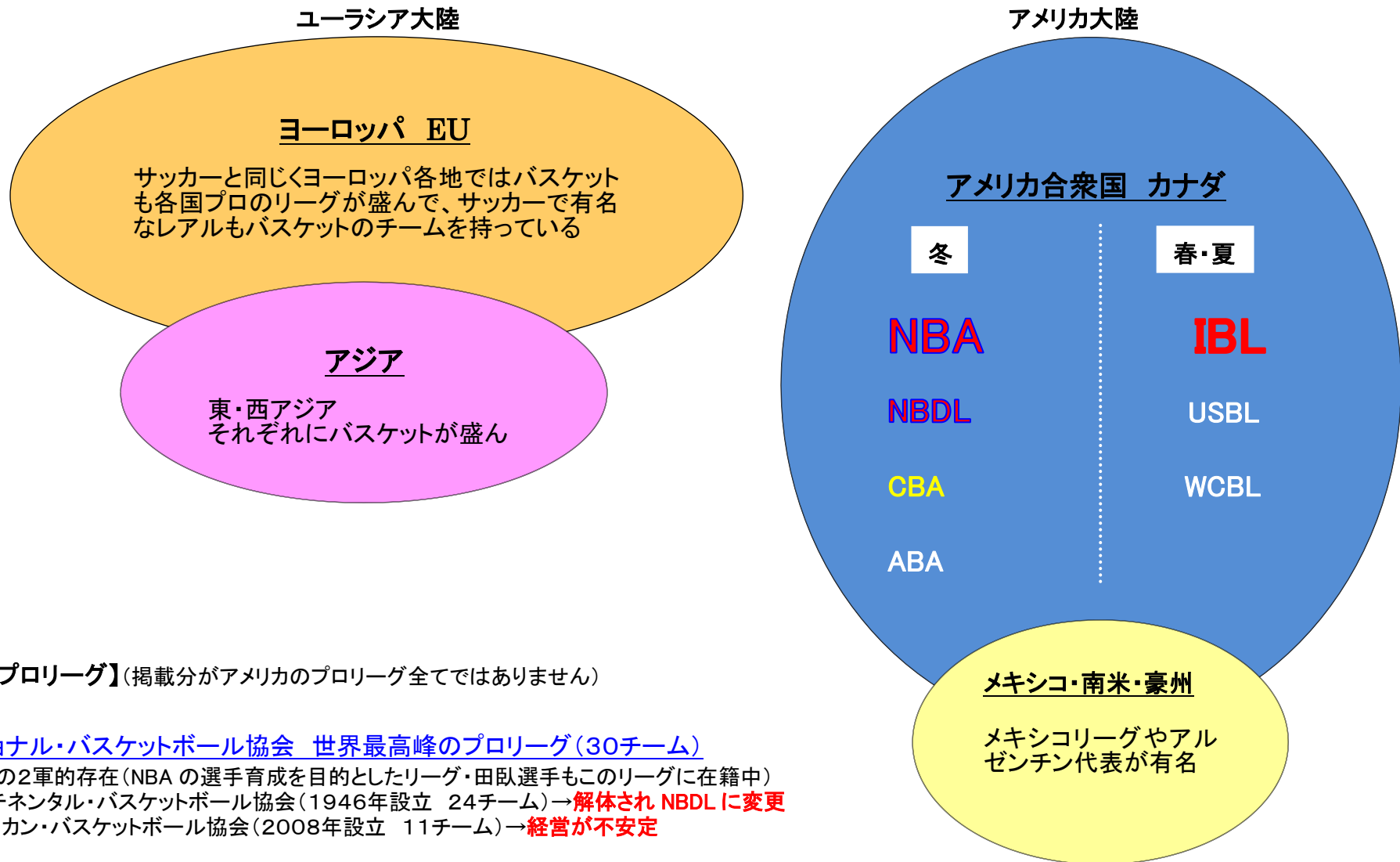
世界と離れたところで努力をするのではなく、「世界の中に浸って」努力をする





世界環境に浸る = International Basketball League の存在 (2009 年 Nippon Tornadoes IBL 参戦)

世界のリーグがオフの間に行われる IBL



【アメリカのプロリーグ】(掲載分がアメリカのプロリーグ全てではありません)

【冬】

NBA ナショナル・バスケットボール協会 世界最高峰のプロリーグ(30チーム)

NBDL NBA の2軍的存在(NBA の選手育成を目的としたリーグ・田臥選手もこのリーグに在籍中)

CBA コンチネンタル・バスケットボール協会(1946年設立 24チーム)→解体され NBDL に変更

ABA アメリカン・バスケットボール協会(2008年設立 11チーム)→経営が不安定

【春】

IBL インターナショナル・バスケットボール・リーグ(国際バスケットボールリーグ・2004年設立)(19チーム)

USBL ユナイテッドステイツ・バスケットボール・リーグ アメリカの東海岸を中心とするチーム参加による春季リーグ(4月~6月)

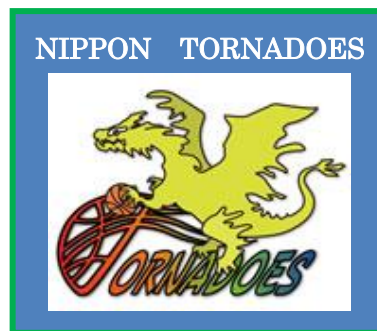
WCBL ウェストコースト・バスケットボール・リーグ アメリカの西海岸を中心とするチーム参加による春季リーグ(4月~6月)

世界に浸ると言っても、世界選手権やオリンピックに参加できるわけではない。

という事で、我々は世界からプロチームやプロ選手が参加するアメリカのプロリーグ (IBL) に参戦し、世界レベルの土俵で戦い方を学びます

シーズンを通し世界との戦い方を学ぶ

IBL のシーズン は 4 月 ~ 8 月  
アメリカ国外からプロのチームが参戦



**アジア各国のプロリーグ**  
中国 CBA  
韓国 KBL  
台湾・フィリピンなど

**カナダ・南米・オーストラリア**  
アルゼンチン 2004 年オリンピック  
チャンピオン



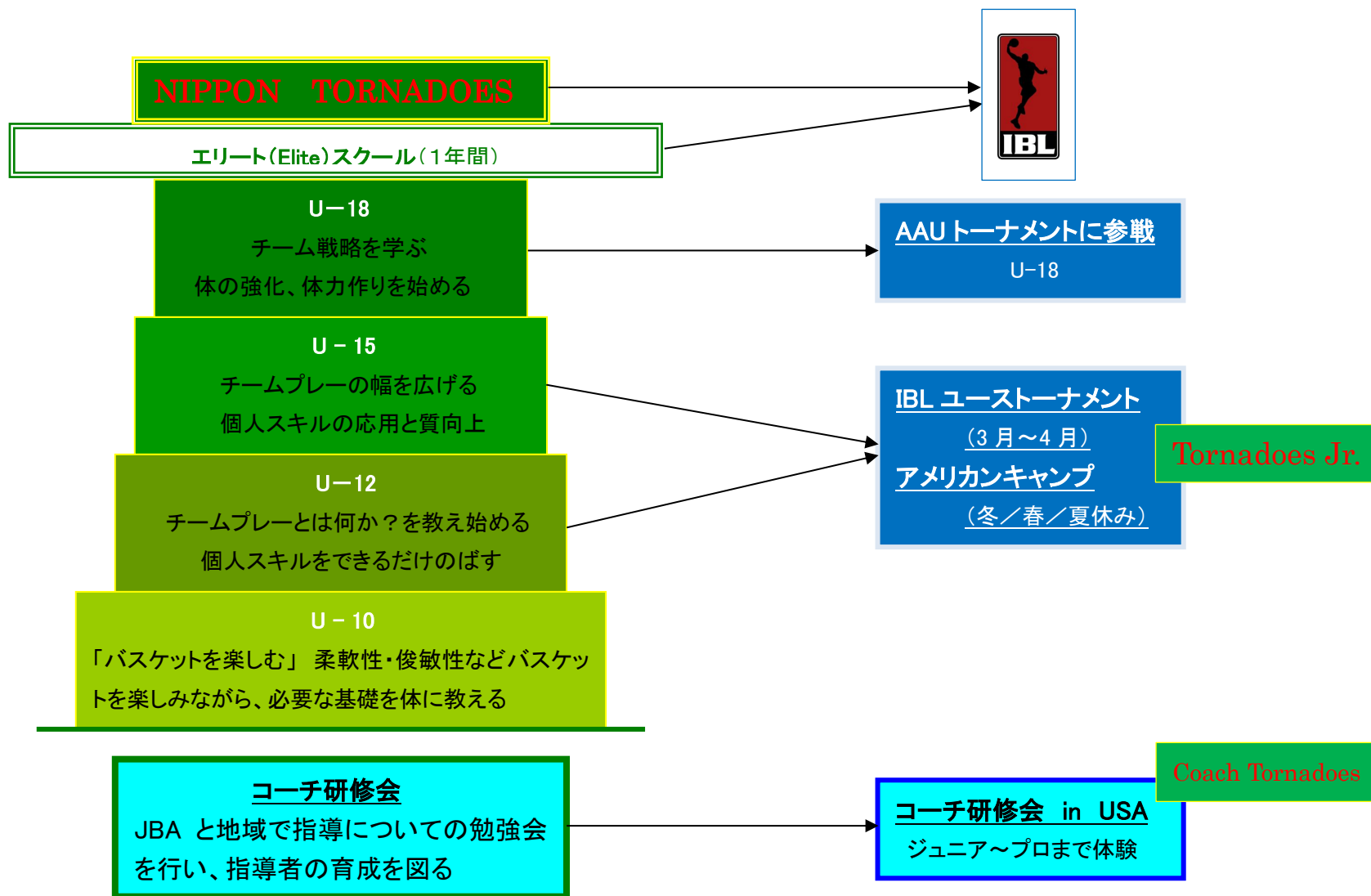
**アメリカ・北米プロリーグ**  
NBA 1946年 設立  
世界最高峰のプロリーグ  
**NBDL**  
NBA の育成リーグ  
ABA 2000年 設立  
シーズン 11 月 ~ 3 月

**ユーロプロリーグ (EU)**  
多くの NBA 選手を輩出  
イタリア・ギリシャ・ドイツ・フランス  
クロアチア・オランダ・スペインなど

世界を見据えた環境の創造「育成」方法（Tornadoesを通して得た情報を日本の現場に落とし込む）

世界基準を日本で学び、

経験や実践はアメリカで



※2012年 Tatsumi Nishida の IBL にオーナーとして参画した事により、これまでより更に安定して、コーチやジュニアの育成環境の整備や強化ができるようになった。

世界を見据えた環境の創造 大会の運営 (イメージ)

	日本から世界までが一貫している	世界へ向けての一貫性がない	日本から世界までが一貫している
海外活動 国際試合	<p><b>オリンピック・ワールドカップ</b> <b>アジア選手権・ユース大会</b>など ジュニアからトップまで世界を舞台に活躍</p>	<p><b>オリンピック</b> <b>世界選手権</b> 現在男子はアジア予選を勝ち抜けない</p>	<p><b>交流戦</b> シーズン終了後、韓国や中国のプロチームと交流戦を行っている</p>
国内活動 国内試合	<p><b>Jリーグ (J1・J2)</b> 高校サッカーなど学校単位の大会 JはU-15のクラブ大会を開催</p>	<p><b>JBL(トップリーグ)</b> 実業団・クラブ・大学・高校・中学・小学・婦人など、各レベルでリーグ戦やトーナメントを運営</p>	<p><b>bj リーグ</b> 日本初のプロリーグ ジュニアの育成はbjカップを主催する</p>
育成	<p><b>Jアカデミー</b>(2002年設立) 5才～21才までの一貫育成 Jリーグは、既存の体制では出来ない子供の成長に合わせた育成(教育)を行っている</p>	<p><b>エンデバー</b> 中学生と高校生の時期 協会主導で一環指導を目指すが、なかなか形にならない</p>	<p><b>プロチームジュニア</b> リーグやそれぞれのチームが独自でジュニア育成 小学・中学生中心のスクール活動が中心</p>
	日本サッカー協会(Jリーグ)	日本バスケット協会	bjリーグ
			<p><b>IBLに参戦</b> TORNADOES Tornadoes Jr</p> <p><b>海外キャンプ</b> プロやジュニア</p>
			<p><b>JBA オールスター</b> <b>JBA クラブチーム選手権</b> 「もう一つの大会」 JBA各地で小学の部、中学の部、一般(高校)の部の<b>リーグ戦や交流戦</b>を開催。</p>
			<p><b>スクール 一貫指導(教育)</b></p> <p>高校生以上～一般</p> <p>中学生 13・14・15</p> <p>小学生 U-9・10・11・12</p>
			IBLとTornadoesとJBA

## 参考資料 パートナース 「世界の環境に浸る」を実現させてくれる仲間

National Basketball Retired Players Association NBA の OB 会

Cyber Sports チームトルネード バスケット戦略&知識

Emerald City Basketball Academy チームトルネード 技術トレーニング

Ternion 3 チームトルネード 体カトレーニング

United States Basketball Academy バスケット専門のキャンプ場

Japan Basketball Academy 日本でバスケット環境の改善や構築を進める

LA pro Summer League – International Basketball League – Seattle Pro.Am Summer League 日本人の育成&経験&プロモーションの場

Seattle Asian Sports Club シアトルアジアンスポーツクラブ 日系人サポート

Reach your Dream of Hoop あんたか あんどうたかおさん

S-Line LLC – Seattle Consulate & Portland Consulate シアトル&ポートランド日本商工会 後援会 行政的なサポート

NetScout ネットスカウト アメリカの大学の為に海外からの選手リクルートをサポートする会社 日本人選手のプロモーションサポート

Courtside フランスに本社を置く、世界最大級のエージェント会社 日本人の EU リーグ参戦や NBA ドラフト等のサポート

## IBL を通して更なる環境の創造に挑戦

### Road to NBA for the Nippon Tornadoes ※Nippon Tornadoes は Dream7 LLC のブランドチームです

ニッポントルネードの活動から日本人の NBA 選手を輩出するための「道」

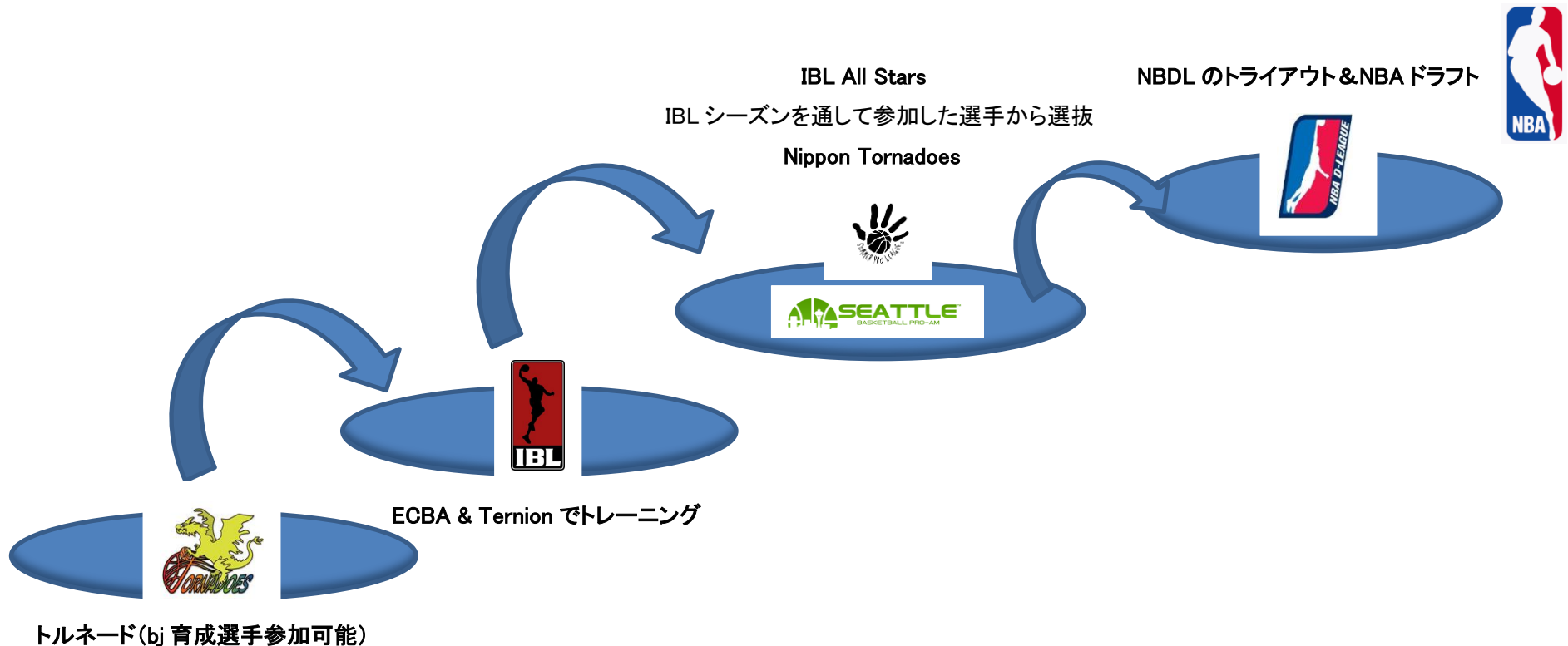
EU も中国もオーストラリアも南米も、自国を世界レベルにするために、毎年オフシーズンには選手や指導者をサマーリーグに参加させ、NBA を含めた世界のトップリーグ関係者に見てもらおう活動

日本も日本人が世界を目指すステージでもっとアピールしましょう！

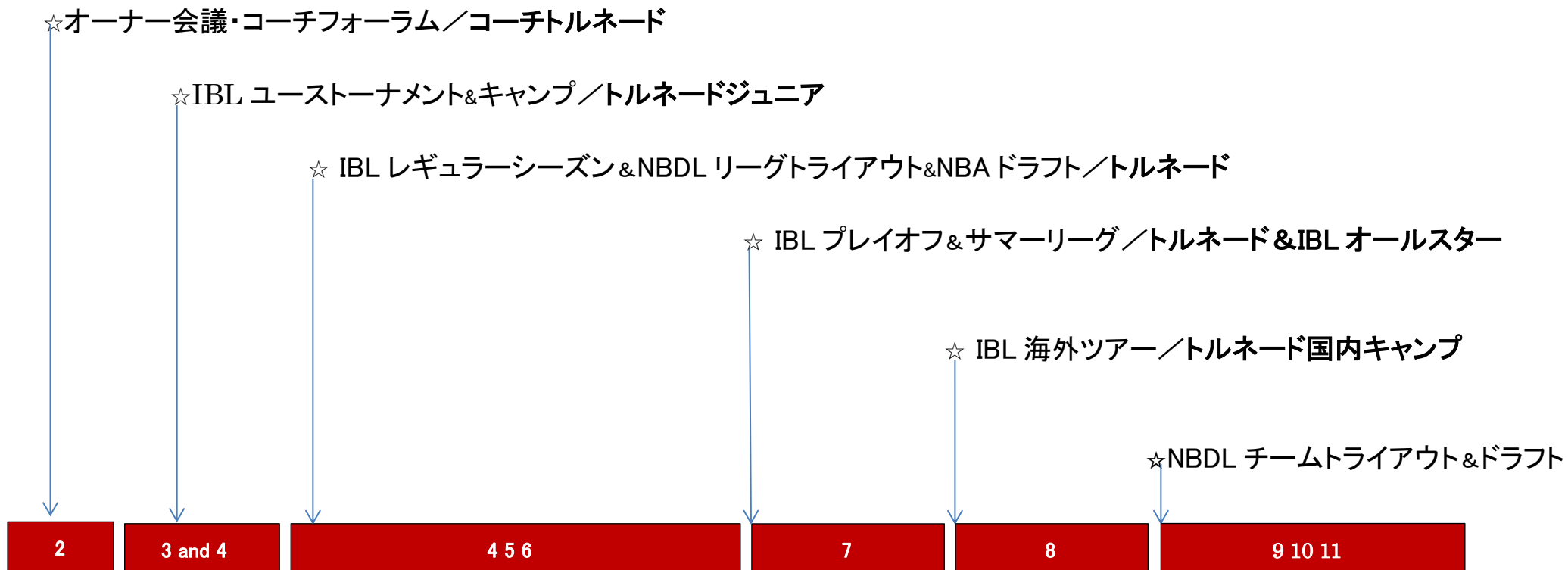
IBL 終了後には、NBA の選手も参加し、NBA や世界のリーグのスカウトやチーム関係者が集う LA Pro. Summer League に参加します。

そして夏の終わりは、IBL の推薦を受けた選手が NBDL に挑戦です。

International Basketball League と LA Pro. Summer League / International Basketball League と bj-League はパートナーです



## IBL と Tornadoes 活動(スケジュール)



**世界を目指す一貫指導が、日本と日本バスケット界のサポートします！**

イメージ(日本のバスケット界を世界レベルに)

世界一を目指し、世界との交流を継続的に行うことで、自然と世界基準の人材を育成し輩出する事が出来る。

それは、世界の中で、リーダーシップを発揮できる日本人を、一人でも多く輩出する事ができ、世界と対話出来る日本を創造することにも繋がります

